

## 為政第二

子曰、君子不器。

子曰わく、君子は器ならず。

(2-28)

<子曰わく、君子は器ならず>

Q:「子曰わく、君子は器ならず」とは何ですか。

- A: (1)「孔子が言った、器(うつわ)はすべて、ある目的のための専用につくられるもの。しかし、学徳ともにすぐれた君子と言われる人物は、ある一つのことだけの専門であってはならない」の意。
- (2)「学徳の備わった君子は、一芸一役の用をなしうるだけの器ではない。器を用いる働きのある人間である」の意。
- (3)「君子」とは、「徳を身に具えた立派な人」の意。
- (4)「器」とは、机、椅子、茶器のような1つのことに役立つ器のこと。また、機械の意。人間でも、一役一芸にのみ役立って他のことに役立たぬ人は器。
- (5)「器ならず」とは、そのようなものであってはならないということ。
- (6)人の修養は最初から不器の器とはなれない。まず一器としての完成を志し、一役一職の心を心がけなければならない。一事に長ずる者は、万事にも長ずとも言う。一事に長じない者は、他事にも長じ得ることはできない。宜しく、それぞれの才能に応じてその能力を尽くし、その各人の完成を期して努めれば、人間性の靈妙さは、その人それなりに不器の器となり得る。

2011年6月7日林明夫